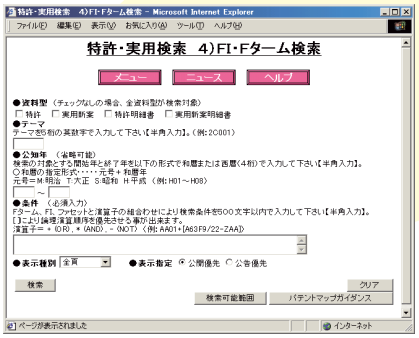
2.5　FI・Fターム検索

FIやFタームを指定して文献を検索することができます。[FI・Fターム検索]では、昭和46年以降の公開特許公報をはじめ、特許・実用新案に関する各種文献を広く蓄積しているので、[公報テキスト検索]で検索できる文献よりも古い文献を調べることができます。また全文献を横断的に検索することもできます。

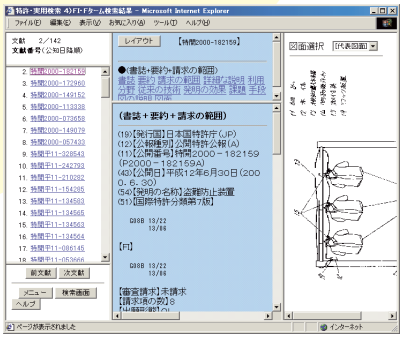
主な検索対象項目
- FI ・Fターム
- ファセット

主な検索対象文献とその期間
- 全資料
- 特許（特許公開、特許公告、特許登録、特許公表、特許再公表）
- 実用新案（実用新案、実用公告、登録実用、実用登録、実用公表、実用再公表）
- 特許明細書
- 実用新案明細書

[FI・Fターム検索] 画面



[文献表示] 画面



参照　・検索対象項目について詳しくは、「2.1 特許・実用検索について」を参照してください。
・[文献蓄積情報]をクリックすると、文献の蓄積状況の最新情報が表示されます。

FIとは

FIとは、ファイルインデックスの略で、原則としてIPC第7版をベースとして細分化したものですが、一部はIPC第4版、第5版または第6版をベースにしています。このFIは日本独自の分類です。詳細は、[パテントマップガイダンス]をご覧ください。

IPCが約6.9万項目の分類数に対してFIは約18.5万項目の分類数になっています。必要に応じて、IPCの最後に、1ケタの英字（分冊識別記号）を付加して細分化してあります。

FI記号は、IPC改正にかかわらず、すべての年代の公報に共通する検索キーとして用いられます。すべての文献を一度に検索することができます。

FIコード

G	11	B	5	/	10	A
セクション	クラス	サブクラス	メイングループ		サブグループ	分冊識別記号

Fタームとは

Fタームとは、ファイル・フォーミング・タームの略で、特許庁ペーパーレス計画において開発された、詳細な検索を可能とする検索コード体系です。

Fタームの目的は、FIの更なる細分化、あるいは横断的・多面的検索を可能とすることで、特に出願件数の多い分野で開発されています。Fタームは、5ケタのテーマコードと、2ケタの観点、2ケタの数字の合計9ケタの英数字で構成され、さらに付加コードのあるものがあります。1件の特許文献に多数付与されています。

また、2000年以降発行の公開特許公報には、Fタームが記載されるようになりました。このFタームを使いこなすことで、よりノイズの少ない検索を実現できます。

Fタームコード

5D044	DD	11
テーマコード	観点	数字